

令和6年10月17日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

体験型研修宿泊施設「そらすな」 グッドデザイン賞 2024 年度受賞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎 秀則）は、福岡県行橋市に事業主として整備した体験型研修宿泊施設「そらすな」において、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2024年度の「グッドデザイン賞」を受賞しました。

■体験型研修宿泊施設「そらすな」について

本施設は、株式会社オリエンタルコンサルタンツが指定管理者として運営管理している長井浜公園内に、回遊性向上や交流促進を目的に、地域活性化の拠点となる体験型研修宿泊施設「そらすな」を事業主として（自己投資により）整備しました（2023年11月開業）。

「そらすな」は、客室の海側を覆う巨大な木製の階段により長井浜の海、砂浜と客室を繋ぎ、開放的、かつプライバシーを確保した空間が特徴です。客室は全室オーシャンビューを臨むことができ、自然に調和したシンプルなカラーリングデザインを基本としています。また、オーシャンビューバス、サウナ、暖炉、愛犬ステイ等の客室タイプがあり、その他、ジャグジー、BARルーム、各種研修等、様々なお客様ニーズに対応できる施設です。さらに、レストラン「Solasuna Dining」はランチ営業を行い、宿泊者以外のお客様も利用でき、行橋や長井浜の地域のお野菜やお米を中心に使用して、心も身体も喜ぶお料理を提供しています。

今後、「長井浜公園」や「そらすな」がお客様や地域の方々に愛される施設として、さらに質の高い施設の運営管理・サービスを提供し、長井地区及び行橋市の滞在人口や交流人口が増大するよう、地域の活性化に取り組んで参ります。

■グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



■建物概要

事業者	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
設計者	Axonometric 株式会社
施工者	株式会社志道工務店
所在地	福岡県行橋市長井136-1 長井浜公園
敷地面積	11,477.31 m ² (街区公園面積)
建築面積	459.50 m ²
延床面積	853.40 m ²
構造・階数	鉄骨造 2階建て
用途	宿泊、飲食、会議室
竣工	2023年11月
ホームページ	https://nagaihama-resort.com/solasuna/

■デザインの方向性

- ①公園と建築の境界がなくなり溶け合った
ような空間デザイン
 - ②敷地は地方の小さな都市公園
 - ③衰退する地方都市の未来を、小さな公園か
ら変えていく
 - ④多様なテラスが公園と建築をつなぐ
- ※詳細は別紙参照

<本資料に関するお問合せ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL:03-6311-7551 FAX:03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤、丸山、門司

□受賞対象名：ホテル そらすな

□事業主体名：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

□概要

浜辺に隣接した街区公園内に建つ宿泊施設。民間が提起する地域戦略の一端を担う。官民連携が進まない地方都市において、この建築が立地する公園の指定管理者が自ら投資し、住民や民間が主役となって経済社会活動を営むためのプラットフォームとして計画した。市内外から広く人を呼び、全国へ波及する取り組みとなることを目指す。

□デザインのポイント

1. 小さな都市公園を民間による経済活動の場として活用することで、官民が連携して地方都市の未来をつくる。
2. 地方都市の地域課題を解決するための「稼ぐ公共」を実現する空間デザイン。
3. 地域の環境資源や人的資源を面的に連携させ、地域活性化の拠点となる体験型研修宿泊施設。

□プロデューサー：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 地域経営推進事業部 事業部長 川本卓史

□デザイナー：axonometric 株式会社 佐々木慧

□グッドデザイン賞審査員による評価コメント

都市部以外の小規模都市公園で官民連携を活用した好事例である。海辺の都市公園の中だからこそ、アクセスは海側からのみというドラマチックな平面計画を可能にしている。公園の外構デッキが、そのままシームレスに階段状に屋根まで上がっていく建築デザインは、あたかも公園が建築を包み込んでいるかのようで、それがかえって「この建築がここにある」ことの蓋然性を高めているように感じられる。自己主張を抑えながら海と公園と建築の一体性を高める主張を持つデザインは、今後の、特に小規模な都市公園における建築デザインのあり方に一石を投じており、グッドデザインと評価する。

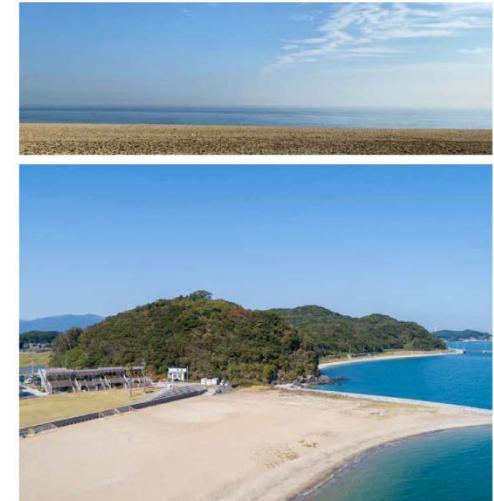




そらすな Beach Side Resort Hotel

1 公園と建築の境界がなくなり溶け合ったような空間デザイン

それは具体的にどのようなものか? クラウドと共に、ハード・ソフト両面から検討を進めた。そうして生まれたのが、太陽が昇る美しい海に向かって、途切れないと水平線を建築の構成に取り込んだ大きな階段のようないmage。



2 敷地は地方の小さな都市公園

福岡の北東部、東に綺麗な海を有する行橋市長井浜。元々は漁村で、その後美しい海の景観を活かして旅館が立ち並んでいたが、時代は流れ人気のない土地となっていた。そこに近年、クラウドによって近年ピーチスポーツ・マリンアクティビティが盛んな海水浴場とコンパクトな海滨公園が整備され、活気を取り戻しつつある。



3 衰退する地方都市の未来を、小さな公園から変えていく

地方都市が抱える窮屈感は、公園を変えることで解決できるはずだ。民間が主導して官民連携し、継ぐ公共と公私との連携によってそれを実現する。小さな都市公園でそれを実現できれば、他の同じ問題を抱える地方都市も変えていくことができる。そのような想いで、クラウドアートは本計画地である長井浜公園の指定管理者となり、その後、地元活性化の拠点として公園内に宿泊施設を建てることを決めた。地元の人々が泊まり、ピーチ・漁業・農業など地元にある環境資源を活用させる拠点となること。その上にあとは豊かな自然を学び体験できること。そのためには自然に囲まれ、公園と一緒に利用できること。このように、人・自然・街を繋げるためのプラットフォームとなる場所が求められた。衰退する地方都市の未来を小さな公園から変えていく。その見本となるためのソフト・ハード共に様々なチャレンジと地域社会へのメッセージを詰め込んだプロジェクトである。



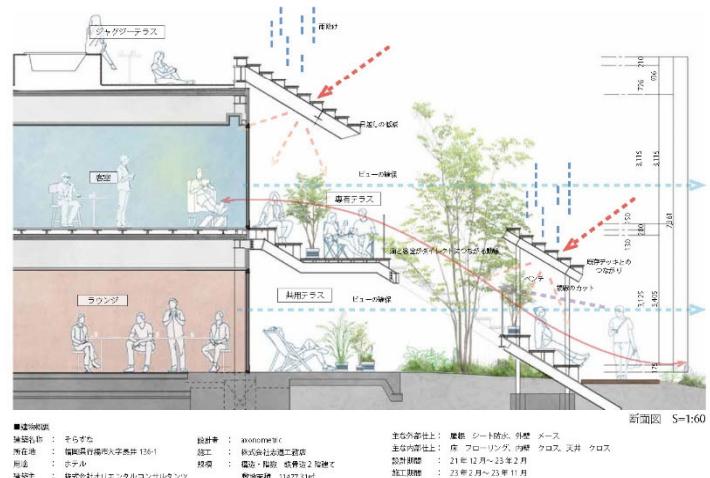
「継ぐ公共」のしくみで公園を変える



公園の延長としてできた大きな階段は、客室と海をダイレクトに繋ぎ、海に向かう多様な居場所をつくる。

4 多様なテラスが公園と建築をつなぐ

階段状のテラスは、客室と公園/海を最短距離で繋ぐ動線である。海に向かう観客席となる。ゲストはピーチから直接自分の客室に入りでき、客室からはピーチ・海・空のビューや楽しめる。自然の要素を最大限活用することができる。公園から連続した階段が多層になり合って多様な居場所が生まれ、公園を訪れる人、遠くから訪れた人、地元の人たちが気軽に利用しコミュニケーションを形成することができるよう、広がった場所になっている。人々がその土地の自然と触れ合い、集まり、街を元気にしていく。その象徴となる場所に育っていくことを願っている。



階段の脇にBBQをしたり、海に向かう大きなベンチとなったり、多様な屋外空間が生まれる。